

新規就農者がハウレンソウ経営を開始！

【平成 28 年 11 月 2 日掲載】

庄原市西城町で、認定新規就農者に認定された重原盛導(しげはらせいどう)さん(32 歳)が7月からハウレンソウの周年栽培を開始しました。

重原さんは大学で農業経営を専攻し、卒業後、一般企業に就職したものの農業に対する想いをもち続けていたところ、後の研修先となる庄原市のハウレンソウ農家と出会い、本格的に農業を始めることとしました。研修では平成 24 年から4年間、栽培管理や出荷・調整技術を学びました。

そして今年4月から、地元の西城町で就農し、青年等就農資金を活用して施設や機械等を導入し、経営を開始しました。7月には 20a のハウス(6棟)が完成し、8月には初出荷を迎えました。重原さんは、就農から現在までの栽培を振り返り、「研修を受けていた時とは違い、防除のタイミングや施肥量など、全ての作業を自分で判断しなければならないのが難しい。」と語っています。現在、ハウスで順次播種、収穫作業が行われています。

また、「現在は地域の方々に協力してもらいながら農業をしている。将来的に地域の



活性化に貢献できるよう、日々精進したい。」と抱負を語りました。今後は3年後を目途に、ハウス面積を 60a まで拡大する計画です。

北部農業技術指導所では、重原さんに対し、引き続き土づくりや病害虫対策指導を行い、早期の経営安定を支援します。

【生育状況を確認する重原さん(写真左)】